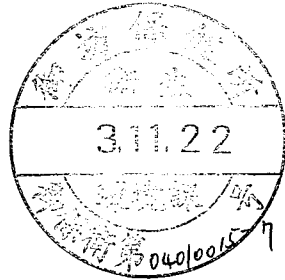


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年 11月 22日

和歌山県知事 仁坂 吉伸 殿



提出者

住所 和歌山県日高郡日高川町初湯川462

氏名 和興建設株式会社

代表取締役 山本 雅弘

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0738-63-3824

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	和興建設株式会社
事業場の所在地	和歌山県日高郡日高川町初湯川462
計画期間	令和3年 4月 1日～ 令和4年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	特定建設業
② 事業の規模	資本金 ¥40,000,000-
③ 従業員数	29名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①産業廃棄物処理業者及び収集運搬業者との適正な委託契約 ②各、現場で発生する産業廃棄物は処分方法による適正な分別 ③収集運搬業者による適正運搬 ④産業廃棄物業者による適正処分 ⑤マニフェストの交付 ⑥処分業者への処理状況の確認

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

各現場の管理責任者が産業廃棄物適正処理

産業廃棄物処理責任者 土木部主任

産業廃棄物(マニフェスト管理) 総務部

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ R2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混廃		
	排 出 量	6596.5 t	197.2 t	228.8 t	t	t
	(これまでに実施した取組) 現場にて発生する産業廃棄物は廃棄物の種類ごとに選別し中間処理業へ搬送し適正処理を行う。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混廃		
	排 出 量	1,500 t	100 t	50 t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 施工工法の改善等、産業廃棄物の発生制御に努める。 社員全員による産業廃棄物に対する課題や問題点などの話し合い。					

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類ごとに選別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 施工工法の改善等、産業廃棄物の発生制御に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（ R2 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら直接再生利用、自ら中間処理した後再生利用は行わない。				
①計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（ R2 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。					
①計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。					

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)  自ら埋立処分または海洋投入処分は行わない。				
① 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)  自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
① 現状	【前年度（ R2 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混廃	
	全処理委託量	6596.5 t	197.2 t	228.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6596.5 t	197.2 t	228.8 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)  処分業者と委託契約を締結するに当たっては事前の現地確認(処理状況、維持管理状況、周辺状況)するとともに、委託後に定期的な確認を行う。 再生利用が可能な廃棄物については、積極的に再生利用を推進するため、委託先についての情報収集を行い、ルートを確保する。					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木屑	混廃		
	全処理委託量	1,500 t	100 t	50 t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t		t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,500 t	100 t	50 t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまでに実施した取組を継続する。  また、再生利用が不可能な廃棄物については、積極的に熱利用を推進し、委託先についての情報収集を行い、ルートを確保する。  施工工法の改善等、産業廃棄物の発生制御に努める。</p>					
※事務処理欄						

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者	代表取締役社長	
現場責任者	舗装・土木部部长	
現場担当者	舗装・土木部主任	
産業廃棄物 処理責任者	川崎 敬幸	
廃棄物処理施設 技術管理者		
役割	統括責任者	①委託契約の締結 ②処理業者への現地確認（処理状況、維持管理状況、周辺状況） ③再生利用推進のための委託先情報収集、ルート確保
	現場責任者	①産業廃棄物の取扱手順等の策定 ②従業員及び下請業者等への教育、啓発等 ③帳簿の作成 ④廃棄物処理法及び関係法令を遵守した作業の推進
	現場担当者	①マニフェストの交付 ②分別解体、産業廃棄物の分別、保管業務
組織図		
<pre> graph TD     GM[GM 役会] --- GA[総務部]     GM --- PC[舗装部]     GM --- CE[土木部]     PC --- PC_FD[現場担当]     CE --- CE_FD[現場担当]         </pre>		